

(花き)
ソリダゴ

日置市 香内 慎之介さん(28歳) 東京都出身|ターン
一年を通した生産が可能で市場評価の高い安定した収入が見込める作物に魅力を感じている!

研修先

公益社団法人 日置市農業公社

所在地及び連絡先

日置市吹上町中原2847

電話: 099-245-1700

＜研修作物＞
ソリダゴ



＜新規就農を志した経緯・背景＞

- ・神奈川県内で飲食業に携わっていた際、野菜農家との付き合いがあり、体験農業等を経験したことから農業に興味を持った。
- ・母方の曾祖父が日置市出身であったことから、市に就農相談をしたところ、日置市のソリダゴは、市場評価が高く、JA出荷を通じて安定した販売収入が見込めるとともに、一年を通して生産できることを知り、日置市農業公社の研修生になった。
- ・市の農業委員の助言で、まずは、農家のアルバイト先を紹介してもらい、2年程度農業に取組み、生活資金を確保し現在に至っている。

支援策の活用例

- ・国の就農準備資金(年額150万円)を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。
- ・就農後は、経営開始型、経営発展支援事業を活用する予定。

これまで苦労した点

- ・農家でのアルバイト経験等があったので通常の農作業は実施できているが、今後、単独作業となった場合、病害虫の適正管理や、作物の成長度合いに応じたきめ細かな管理作業等について不安を感じている。

研修して良かった点

- ・公社では、マンツーマンによる指導体制であることから、安心して研修ができていること。
- ・生産する作物(ソリダゴ)について、成長度合いに応じた実践的な研修ができていること。
- ・母方の曾祖父が所有していた自宅を利用できていること。

就農に向けた今後の目標

(現在)

【研修期間】(令和6年1月～令和7年12月)

- ・1年目は、栽培管理、農業技術の習得。
- ・近隣の農大で土壌及び農業簿記等に関する研修を受講中。
- ・2年目は、公社の施設を利用した独立生産方式による研修予定。

【就農後】(令和8年1月～)

- ・近隣の空きハウス50aを先輩研修生とシェアリングして再利用する予定。
- ・ビニルハウス張替の場合、受益者3戸以上の降灰対策事業を活用する予定。
- ・労働力が本人1人であることから、当初は施設20a程度から開始したい。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・農業に興味を持っているのであれば、迷わずチャレンジしてほしい。
- ・農業は、一定の投資を伴うものであるが、大きな投資をする前であればいつでも引き返せるので、まずは、研修体験から始めてみてもいいのではないかな。
- ・研修先を決めたら、早めに関係機関や行政へ相談して、安心して研修が受講できる体制を確保したほうが良い。(諸手続きの遅れで3か月ほど入校が遅れてしまったため)